

1. 主題名『命をかがやかせて』【内容項目 3 - (1) 生命尊重】

2. 資料名「命を見つめて」(学研)

3. 主題設定の理由

ねらいとする価値について

生命に対して畏敬の念をもつことは、よりよく生きるために不可欠なものである。  
 誰でもいつかは生命の終わりが訪れる。そして、その終わりがいつなのかは、誰にもわからない。だからこそ、私たちは、限りあるたった一つの生命を大事にして生きていかなければならない。そして、生命の尊さを感じながら精一杯生きていくことによって、その生命は輝いていると言える。  
 そのことについて学ぶことは、自他の生命を尊重し、力強く生き抜こうという心を育て、生命に対する畏敬の念を育てることにつながると思う。

児童の実態について

本学級の児童は、明るく素直な子どもが多い。命について考えるアンケートの結果では、命は大切なものと考えている子どもは32人で、クラス全体が命は大切であると考えている。しかし、命を軽視するような行動をしたことがある子どもが31人、命を軽視するような言葉を使ったことがある子どもが27人もいる。このことから、命は大切だと思っけていても、生きていることは当然と考えており、生きることの尊さを本当に理解しているとは言えないと考える。  
 そこで、本主題では、生きていることの偉大さや尊さを身近に感じ、精一杯生きることの大切さを改めて考えさせたい。

資料について

本資料「命をみつめて」は、右大腿骨骨肉腫という病気になった猿渡瞳さんの病気との闘いの記録と中学2年生の弁論大会で発表した「命をみつめて」という作文にかける瞳さんの強い思いが描かれている実話の資料である。  
 瞳さんは、11歳のときに骨肉腫が発見され、肺への転移も見つかる。そして、母親からガンの告知を受ける。瞳さんは、病気に負けまいと懸命に治療を受けた。辛い治療が続いたときも、明るさを絶やさず前向きに生きる。  
 瞳さんは、闘病生活の中で、瞳さんは普通に生きることの幸せと命の尊さを痛感した。中学2年生になった瞳さんは、弁論大会に出場することになる。自分の思いを伝えるために、弁論大会当日の朝まで原稿を何度となく書き直した。弁論大会では力強く発表し、瞳さんのメッセージは場内の人々の心をつき動かした。しかし、瞳さんは、それから2か月後この世を去った。自らの体験を通して、健康な体で学校に通えることや家族や友だちと毎日を過ごせるといふ幸せ、たとえどんな困難な状況でも、前向きに生きていくことのすばらしさを伝えているからこそ、命の尊さや今を精一杯生きようとする心情を養うのに適切な資料であると思う。

指導について

この資料は、2時間で取り扱う。1時目では、資料「命を見つめて」を通して瞳さんについて知る。導入段階で、子供たちのアンケート結果から、自分たちの考える幸せについて知らせ、瞳さんの考える幸せと比較させ、瞳さんの生き方について話し合う。  
 2時目の本時では、まず前時の授業を振り返り、瞳さんがどんな子どもだったか思い出させる。また、自分たちと同じ6年生だったことを確認させ、自分と重ねて考えやすいようにする。  
 展開では、瞳さんがなぜ最後まであきらめずに病気と闘い続けたのか考えさせ、瞳さんの「生きる」ことへの強い気持ちやそれを支える心に気付かせたい。次に、瞳さんの弁論を聞き、瞳さんが弁論大会で伝えたかったことについて考えさせることで、命の大切さや今を精一杯生きることが大切であることに気づかせたい。  
 展開後段では、道徳的価値に対する自分の振り返りをさせるために、主人公から学んだことや今までの自分やこれからの自分について考えさせたい。  
 終末では、瞳さんの残した言葉と瞳さんのことを学習した友達の考えを映像で見せながら価値を温めさせたい。

4. 本時のねらい

猿渡瞳さんの生き方について考えることを通して、命を大切に「今」を精一杯生きようとする心情を育てる。

5. 展開

	学 習 活 動	主な発問( )と予想される反応(・)	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1. 前時に学習したことを振り返る。	瞳さんは、どんな人でしたか。 ・明るく元気な子。 ・病気に負けないで頑張る子。 ・ガンになったけど、最後まで頑張って生きた人。	資料「命を見つめて」は、前時で通読させ、瞳さんの生き方について考えさせておく。瞳さんが自分たちと同じ6年生であることを確認させ、身近に考えられるようにする。
展	2. 瞳さんの生き方について考える。	瞳さんが最後まであきらめずに頑張れたのはどうしてでしょう。 ・「生きたい」という強い気持ちがあったから。 ・かなえたい夢があったから。 ・家族のため。 ・入院中に亡くなっていった人の分まで生きたいとおもったから。	瞳さんの生き方について考えることで、「生きる」ことへの強い気持ちやそれを支える心について考えさせる。 ・まわりの人(家族や仲間)のために生きたいという気持ちや生きたいという強い気持ち、命の大切さに気づいたことに気付かせる。
開	3. 瞳さんの弁論を聞いて考える。 (1) 瞳さんがみんなに伝えたかったことは何かを考える。	瞳さんが弁論大会でみんなに伝えたかったことはなんでしょう。 ・本当の幸せは、今生きているということ。 ・健康な体で学校に通ったり、あたり前のように生活できたりすることは、幸せなこと。 ・命が尊いということ。 ・一日一日がとても大切だということ。 ・今生きていることに感謝して今を精一杯生きるということ。	実際の瞳さんの弁論大会の声を聞くことで、瞳さんの弁論を真剣に受け止められるようにする。 自分の考えをワークシートに書かせる。 友達と交流させ、自分の考えを深めたり広げたりさせる。 ・グループで交流をさせる。 ・交流では、友達の「いいね」「超いいね」を見つけさせるようにする。 瞳さんの弁論を聞いて、生きていることの尊さや精一杯生きていくことの大切さに気付かせたい。
終 末	(2) 今日の学習で学んだことを考える。 3. 未来日記を見る。	自分のことも振り返りながら、ワークシートに書きましょう。 瞳さんの残した言葉と瞳さんのことを学習した友達の考えをみましょう。	瞳さんから学んだ生き方と自己の生き方について考えを深めさせたい。 命の大切さを感じ、今を精一杯生きるという気持ちを高めさせたい。

6. 評価

命の大切さについて考え、今を精一杯生きようという気持ちを高めることができたか。